

カリフラワー



カリフラワーはブロッコリーなどと同じくアブラナ科の植物で、淡色野菜になります。白っぽいイメージの野菜ですが、近頃では紫やオレンジ色などカラフルなカリフラワーも出ています。

作型

湿害に弱いため、水はけの良い場所を選ぶ。水はけの悪い所は高畝にして、できるだけ排水に心がける。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
秋 植 え								○ ○	△ △		■ ■ ■ ■		スノークラウン、バロック

○：種まき △：植え付け ■：収穫

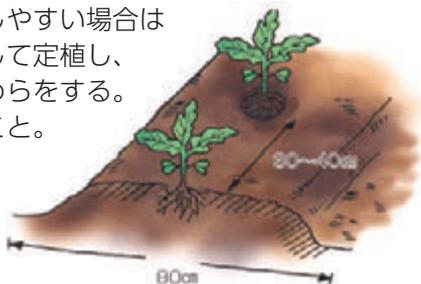
畑の準備・定植

土づくり a当たり	
堆肥	300kg
セルカ（有機石灰）	10kg
植え付け1ヶ月前に土とよく混合	
元肥 a当たり	
野菜専用肥料	5kg
醗酵鶏糞	40kg
畝立時施用	

- 畝幅70~80cm
- 株間30~40cm

定植

- 本葉5~6枚の頃植え付ける。
- 土壌が乾燥しやすい場合は植穴に灌水して定植し、株元に敷きわらをする。
- 深植しないこと。



軟白

- 品質保持のため、花蕾が見え始めたら、直射日光に当てないように外葉を束ねてひもでしばるか、外葉を折り曲げて花蕾にかぶせる。

防除

病害虫名	耕種防除	薬剤防除
黒腐病	排水をよくする 発病株は除去する アブラナ科作物以外のものと輪作する	Zボルドー(500倍)
ヨトウムシ	早期発見し、群生幼虫分散前に捕殺する	
コナガ アオムシ	育苗期に寒冷紗等で覆う 防虫網を張る 早期に発見し捕殺する	モスピラン顆粒水溶剤(2,000倍) 7日前まで 3回

種まき・苗づくり

- 育苗箱に6cm間隔にすじまきする。
- 覆土は5mm程度。
- 発芽するまで、乾燥しないよう、新聞紙をかける。
- 本葉2~3枚の頃、直径9cmくらいのポットに鉢上げする。
- 害虫予防、日よけのため、白寒冷紗をかける。

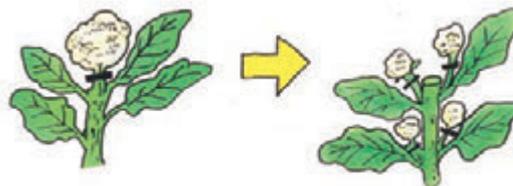
追肥・土寄せ

- 定植約3週間後（本葉8~9枚）と花蕾が見え始める頃に土寄せと同時に野菜専用肥料6~8kg/a施用する。



収穫

- 頂花蕾は直径10~12cmで蕾の型が崩れないうちに収穫する。
- わき花蕾は花が咲かないうちに収穫する。



キャベツ



キャベツは本来冬が旬の野菜ですが、現在ではさまざまな品種改良がなされ食感や外見、旬の違う品種がそれぞれあるので、上手に使い分けておいしいキャベツを食べましょう。

作型

あまり早まきすると、とう立ちして、大きな玉にならない。
暑さと乾燥に弱いため、灌水を忘れずに行う。秋まきが作りやすい。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
秋どり							○	△	—	■	■	■	おきな・湖月
年内どり							○	△	—	■	■	■	YR泰山・彩風
冬どり	■	■	■	■			○	△	—				あやひかり

○：種まき △：植え付け ■：収穫

育苗

- トロ箱などに条間5~6cmで、すじ状にまく。
- うすく覆土(5mm)し、鎮圧する。発芽まで新聞紙をかける。
- 発芽したら2cmに間引き、本葉2枚頃、ポットに移植する。(9cmポット)
- 種まき後35~45日位、本葉5~6枚の苗を定植する。
灌水：午前~日中に行う。追肥は液肥500倍液を灌水代わりに散布。
床土の作成：1㎡当たり完熟堆肥2kg、BMよりりん50g、セルカ150g、
野菜専用肥料100g

新聞紙は発芽後すぐにとり除く。



畑の準備・定植

土づくり a当たり

堆肥 400kg
セルカ(有機石灰) 15kg

元肥 a当たり

醗酵鶏糞 30kg

- 2条千鳥植え：畝幅120cm
- 株間30~40cm
(条間40~45cm)



本葉5~6枚の頃、
丁寧に植える。
植える前に灌水をして
鉢の乾きを防ぐ。

追肥・土寄せ

- 定植後30日頃：追肥後、軽く土寄せを行う。
- 結球開始時期：追肥する
(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料5kg/a
(冬どりは7kg/a))



外葉が大きくなると
大きな玉にならない。

土寄せをしないと
株が転んでしまう。

防除

病害虫名	耕種防除	薬剤防除
アオムシ ヨトウムシ	幼虫を捕殺 防虫網を張る 早期に発見し捕殺する	トレボン乳剤(1,000~2,000倍) 3日前まで 3回以内

収穫

- 手で押さえてみて、固くなっているものから収穫する。
- 長い間畑に放置すると、裂球やとう立ちする。
- 先がとがってきたら、とう立ちする株である。